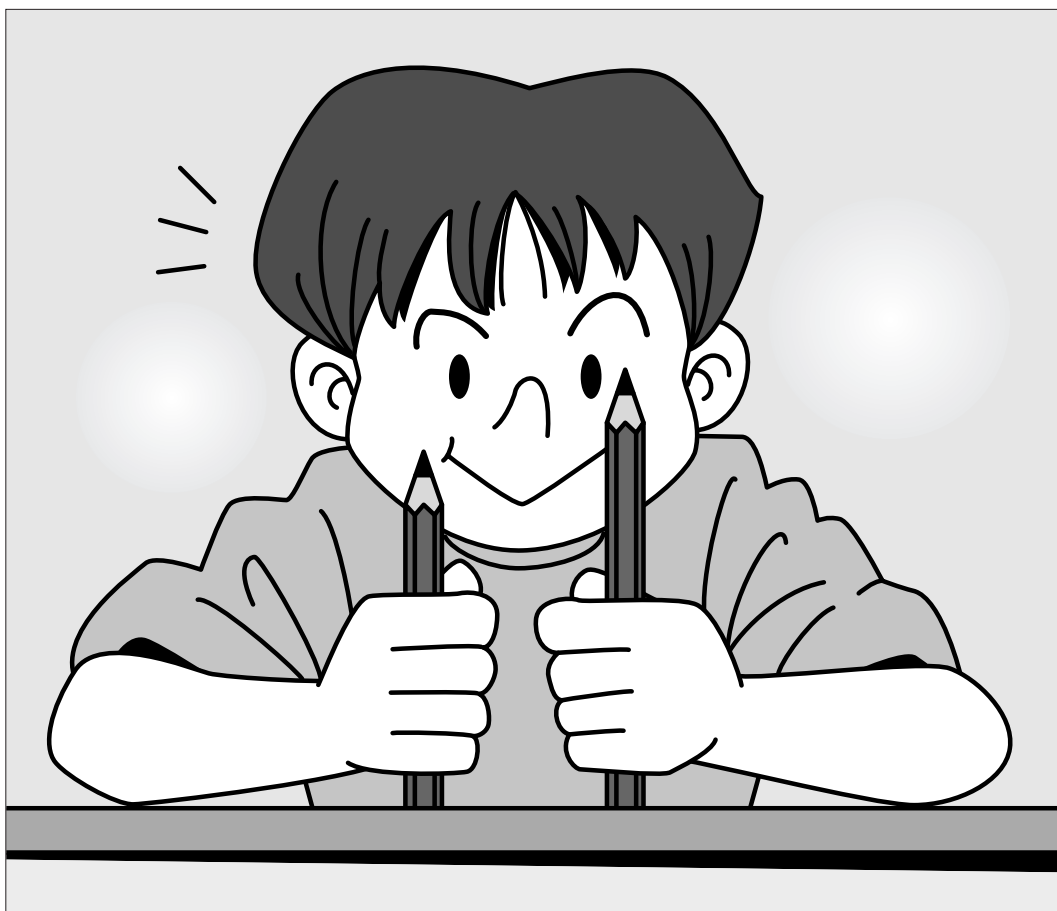


いちばん長いのはどれかな

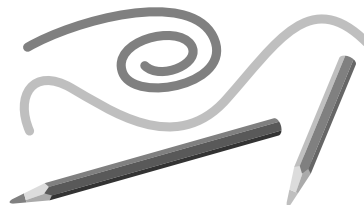


本時のねらい

どちらが長いかを予想することで長さくらべに興味をもち、長さを直接比べる方法や、媒介物を使って間接的に比べる方法を工夫し、長さの概念の素地を養う。

準備物

教師：《長さのちがう鉛筆2本(赤・青)、なわとび、はちまき、あさがおの支柱、長さのちがうひも2本(赤・青)、紙テープ》
《 》内のものを黒板に貼るための磁石つきクリップなど



単元導入時のポイント

児童は、すでに長さというものに触れて生活している。「髪の毛が長い、短い」「キリンの首が長い」などである。しかし、長さがどのようなものであるのかということについてきちんとおさえているかというと、そうではない。そこで、教師から「長い」「短い」という言葉を出すのではなく、児童から「長い」「短い」という言葉が出てくるような場面を設定したい。ここでは、黒板に貼ったものを見ながら、気づいたことを発表する時間をはじめにとる。

本時は、直接比較と間接比較について学習をする。まず、直接比較では、身の回りにある鉛筆やなわとびなどを使って「どちらが長い？」という予想を行う。教科書p.56にも載っているように、両手で鉛筆の端を隠して提示したり、なわとびをまげて提示したりして、直接的に比べられないようにするとよい。児童から「はしっこをそろえればわかるよ」「まっすぐにして」というような発言が出てきたら、それを取り上げていく。

直接比較のポイントは、次の2つである。

- ・端をそろえる
- ・まっすぐにする

間接比較では、「教卓が教室の入り口から出せるか」という教科書の問題をそのまま使う。実際に、教室にある教卓を題材にして、みんなで予想し、比べ方を考えて実際に試してみるのがいいだろう。

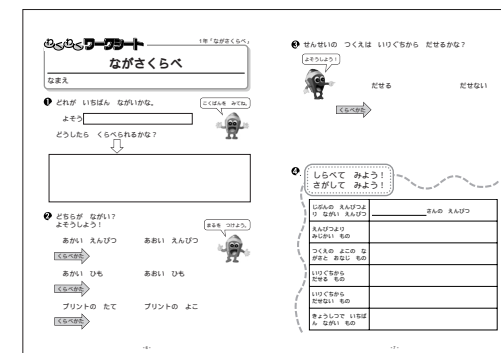
教科書活用の工夫

本時は、実際にあるものを使って、どちらが長いかを予想したり、目の前で比べたりする授業である。そのような授業の場合、児童はとても楽しんで、活気のある学習が期待できるが、学習の大事なポイントを児童が意識しないまま過ぎてしまうことも少なくない。そこで、本時のまとめとして、教科書p.56の写真を見ながら、長さを比べるときに大切なポイントは何であったかを振り返りたい。

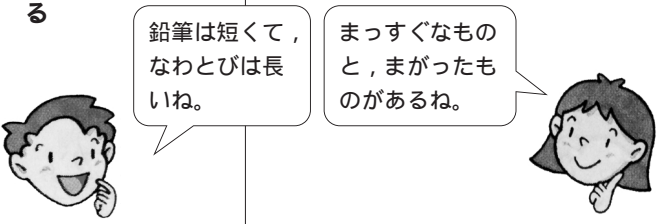
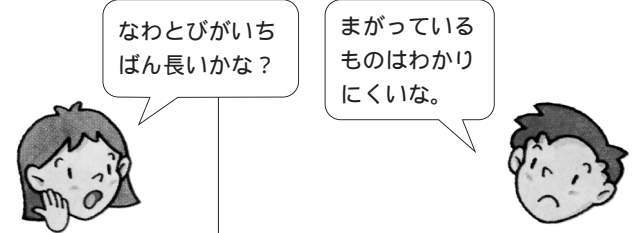



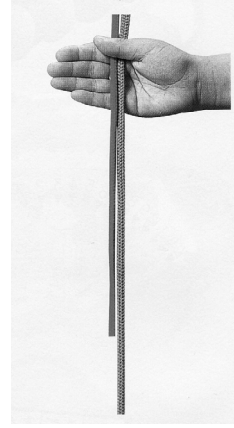


ワークシートの特長

ワークシートの左側は、長さくらべクイズの予想と、比べる方法が記述できるようになっている。また、直接比較と間接比較を行う場合は本時だけなので、児童にも身の回りのものや教室の中のものの長さを実際に比べる経験をさせたい。「長い」「短い」だけでなく「同じ」長さにも目を向けさせたい。右側には、各自が調べたものを記入できるようになっているので、活動を生かした授業づくりをすることができるだろう。



導入時の展開例

学習内容	児童の活動	指導上の留意点
<p>・「長い」「短い」という言葉を理解する</p>  <p>鉛筆は短くて、なわとびは長いね。</p> <p>まっすぐなものと、まがったものがあるね。</p>	<p>黒板に貼られたものを見て、気づいたことを発表しよう。</p>	<p>・準備したものを黒板に貼る。</p> <p>・長さの学習の際、すぐに「長いのはどちらでしょう」という問いかけをしがちだが、まず、「長さ」とはどのようなことを考える時間を設ける。</p>
<p>・直接比較 ワークシート①</p>  <p>なわとびがいちばん長いかな？</p> <p>まがっているものはわかりにくいな。</p> <p>端をそろえたらわかるよ。</p> 	<p>・提示されたものの中で、どれがいちばん長いかを予想する。</p> <p>・どうしたら確かめられるか、比べ方を考え、発表する。</p> <p>まがっているものは、まっすぐにのばしてみよう。</p>	<p>・まず、どれがいちばん長いかを直観的に予想させ、どうしてそう予想したのかを説明させることで、長さの比べ方について考えさせる。</p> <p>・鉛筆の長さはどこからどこまでかを説明する。</p> <p>・端をそろえて比べればよいことをおさえる。</p> <p>・まがっているものは、まっすぐにして比べればよいことをおさえる。</p> <p>・「比べたものを、短いものから順に並べるとわかりやすい」などに気づくことができるようにする。</p>
<p>ワークシート②</p>	<p>・2本の鉛筆、2本のひも、プリント(ワークシート)の縦と横の長さについて、それぞれ比べ方を考える。</p>	<p>・次のものを手にもって提示する。 2本の鉛筆(赤・青) 2本のひも(赤・青) プリント(ワークシート)</p> <p>・2本の鉛筆は、端をそろえて比べることをおさえる。</p>

		<p>・2本のひもは、端をそろえ、まっすぐにのばして比べることをおさえる。</p> <p>・プリント(ワークシート)は、縦と横がどこをおさえてから本題に入る。</p> <p>・1枚のプリント(ワークシート)を折って、横を縦に重ねて比べればよいことに気づかせる。</p>
<p>・間接比較 ワークシート③</p>	<p>・教卓が教室の入り口から出せるかどうかを予想する。</p> <p>・どうしたら確かめられるかを考える。</p>  <p>教卓を動かして、入り口から出るかためしてみよう。</p>	<p>・教卓が教室の入り口から出せるかどうかを予想させ、予想した理由も発表させる。</p> <p>・教卓を実際に動かして確かめなくても、比べられる方法はないか問いかける。</p> <p>・鉛筆やひも、プリント(ワークシート)と異なり、並べたり、折りまげたりできないことから、紙テープやひもなど身近な持ち物を利用して比べられないか考えさせる。</p>
	 <p>でも、動かすのは大変よ。他に方法はないかな？</p>	<p>・一方の長さを紙テープやひもでうつしとり、他方と比べればよいことに気づかせる。</p>
<p>・いろいろなものについて長さを比べる ワークシート④</p>	<p>・教室にあるものや、自分の持ち物などの長さをいろいろ比べる。比べた方法についてもワークシートに記入する。</p>	<p>・どちらが長い、教室の入り口から出せるかどうか、机の幅と同じ長さのものはないかなど、いろいろな視点を与えて活動させる。</p>
<p>・本時のまとめ 教科書p.56</p>	<p>・本時のまとめをして、次時の課題をつかむ。</p>	<p>・教科書を見ながら、本時のまとめを行う。次時は、直接重ね合わせるできないものの長さの比べ方について考えることを知らせる。</p>

ながさくらべ

なまえ

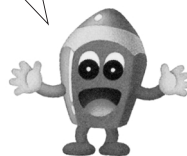
① どれが いちばん ながいかな。

よそう

どうしたら くらべられるかな？



こくばんを みてね。



② どちらが ながい？
よそうしよう！

あかい えんぴつ

あおい えんぴつ

くらべかた

あかい ひも

あおい ひも

くらべかた

プリントの たて

プリントの よこ

くらべかた

まるを つけよう。



③ せんせいの つくえは いりぐちから だせるかな？

よそうしよう！



だせる

だせない

くらべかた

④

しらべて みよう！
さがして みよう！

じぶんの えんぴつより ながい えんぴつ	_____ さんの えんぴつ
えんぴつより みじかい もの	
つくえの よこの な がさと おなじ もの	
いりぐちから だせる もの	
いりぐちから だせない もの	
きょうしつで いちば ん ながい もの	